

梅雨の季節を迎え、この度、にじいろ通信第13号をお届けできることを心より嬉しく思います。学内の最新の活動や研究成果、イベント情報などを幅広く取り上げております。今後ともご支援、ご愛読のほどよろしくお願い申し上げます。

6/18 ダイバーシティ推進員研修会を開催

ダイバーシティ推進員研修会を6月18日（水）に災害医学・医療産業棟 会議室2において、石巻赤十字病院専属産業医 荒川 梨津子先生を講師にお招きし開催しました。「医師の働き方改革について一病院産業医の立場から」と題し、厚生労働省から昨年度4月より施行された医師の働き方改革の新制度の内容について、具体例をあげながら講演くださいました。

長時間労働により睡眠時間が不足することで健康障害となりやすく、医療ミスにもつながることがあるので、勤務間インターバルと代償休息を確保することで、良質な医療の確保になるなどわかりやすく解説くださいました。

自己研鑽の話題についても、業務との線引きが必要であると繰り返されていました。



医師の働き方改革を進めておられる中で、現場の実情と合わないなどの声もあるそうですが、意識改革のために定期的に広報活動をされており、職場の理解を深めるために行動を続けられるとのことでした。研修会後のアンケートでは、「働き方改革の詳細に関して把握することができ大変良かった」、「人を健康にするためにはまず自分が健康でなければならないという言葉、改めて認識できて良かった」などご意見も多く寄せられました。

会場参加者：18名、Web参加者：91名

育児サポート助成事業説明会を開催



育児サポート助成事業説明会を5月16日（金）に開催しました。「福島市ファミリーサポートセンター」からは、「子育てを支援する」ボランティア事業について、「こども緊急サポートふくしま」はいくつかあるプランについて丁寧にご説明がありました。「病児病後児保育所-すくすく-」からは《病児病後児保育についての利用方法》として受け入れ可能なお子さん、受け入れができないお子さんの状態などご説明いただきました。緊急時には医大附属病院への受診もあるということでした。



令和7年度 ダイバーシティ推進本部・同推進室メンバー紹介（敬称略）

【ダイバーシティ推進本部】

本部長(理事長)
 副本部長(ダイバーシティ推進室長)
 副本部長(法人経営室長)
 副本部長(事務局長)
 本部長(医学部長)
 本部長(看護学部長)
 本部長(保健科学部長)
 本部長(総合科学教育研究センター長)
 本部長(附属病院長)
 本部長(学生部長)
 本部長(会津医療センター附属病院長)

竹之下 誠一
 前島 裕子
 藤島 初男
 高橋 憲徳
 藤森 敬也
 高橋 香子
 五百川 和明
 松岡 有樹
 大平 弘正
 亀岡 弥生
 横山 斉

【ダイバーシティ推進室】

室長(病態制御薬理医学講座 准教授)
 室員(衛生学・予防医学講座 教授)
 室員(細胞統合生理学講座 講師)
 室員(生化学講座 助教)
 室員(健康リスクコミュニケーション学講座 助手)
 室員(看護学部小児・精神看護学部 准教授)
 室員(看護学部母性看護学・助産学部 教授)
 室員(保健科学部放射線科学科 准教授)
 室員(保健科学部臨床検査学科 助教)
 室員(会津医療センター精神医学講座 教授)
 室員(会津医療センター精神医学講座 助手)

前島 裕子
 各務 竹康
 小林 大輔
 小橋 友理江
 福島 安瑞美
 大川 貴子
 山口 咲奈枝
 佐藤 久志
 平田 理恵
 川勝 忍
 鈴木 二妙香

6/2 FMU医学部・女性研究者カフェを開催

6月2日（月）令和7年度「FMU医学部・女性研究者カフェ」を、1号館1階カンファランス1にて、アンダラス大学医学部生化学講座 講師 ラウザ・スクマ・リタ先生をお招きして開催しました。

「インドネシアで活躍する女性研究者と研究事情」と題し、自治医科大学に留学することになったいきさつや、当時の思い出、インドネシアでは女性研究者割合が高いこと、政府、大学を上げてのジェンダーギャップを埋める取り組みに力を入れていることなどをお話いただきました。

全編英語でしたが、ラウザ先生がスライドの説明をゆっくりお話くださり、英語に慣れていなくてもわかりやすいご講演でした。

講演後は、参加者お一人お一人が自己紹介を兼ねた一問一答方式で、質問をしましたが、とても丁寧にラウザ先生にはご回答いただきました。



「参加してよかった、インドネシアの事情について知れたのはとてもためになった」、「海外の女性研究者の話を知ることができ、海外の文化を知ることもできて勉強になった」、などのご意見を頂戴しました。

会場参加者：7名

ラウザ先生のご希望で、全員で記念撮影をしました。

「研究支援員の配置に係る要望調査」のご案内

本学ではライフイベント（出産・育児・介護・看護等）を抱えた教員の研究支援を行っております。令和7年度下半期配置分の要望調査を行います。ご案内は各所属ごとに発送いたします。

◆対象者

- 本学に所属する助手以上の常勤教員のうち、本人が以下のいずれかの要件を満たすもの。
- ①本人もしくは配偶者が妊娠中
 - ②家庭において小学校6年生までの児童の養育者
 - ③同居・別居に問わず要介護認定を受けている親族の介護者
 - ④その他、上記に準ずる(家族の看病をしている等)状況にあること

◆支援を希望される方

7月中旬～8月上旬にご案内を予定しています。
(デスクネットにも掲載予定)

◆支援期間

令和7年10月1日～令和8年3月31日

図書のご案内

推進室蔵書の中でも、特におすすめの本をご紹介します。貸し出しも行っておりますので、ご興味のある方は推進室までお問い合わせください。

「居場所」のない男、
「時間」がない女
著：水無田気流

「世界一孤独」な男たちと「時限ばかり」の女たち。全員が幸せになる策はあるか——？ 社会を分断する溝に鋭い社会学者が向き合う。



※ダイバーシティ推進室図書リストは編集作業のため直接お問い合わせください

福島県立医科大学では、個人として尊重され、性別・立場に関わらず、多様な価値観を認め合い、持てる個性と能力を最大限発揮できる環境を築き、かつ、仕事と生活の調和を実現することを目指しております。

福島県立医科大学 ダイバーシティ推進室

E-mail : gendeqsp@fmu.ac.jp / Tel : 024-547-1657 (内線 : 2807)

HP : <https://www.fmu.ac.jp/home/gendeqsp/>

ダイバーシティ推進室長 前島 裕子